

8月23日(木) 第2回研修会 課題別研修会
アンケート集約結果について(抜粋)

《一般参加者：48名 回答者：46名 回収率：96%》

QⅠ 経験年数

- ・1～3年目〔13名〕
- ・4～6年目〔6名〕
- ・7～9年目〔8名〕
- ・10～19年目〔4名〕
- ・20～29年目〔3名〕
- ・30年目～〔11名〕
- ・未回答〔1名〕

QⅡ 今回、参加された研修会についてのご意見等をお聞かせください。

ア. 「独立行政法人 教職員支援機構(茨城県つくば市)主催

平成30年度 教職員等中央研修 事務職員研修に参加して(テーマ設定について)

①良かった〔41名〕 ②ふつう〔5名〕 ③その他〔0名〕 ④未回答〔0名〕

- ・国が伝えようとしている方向がよくわかるので、毎年開催してほしい。
- ・中央研修に行かれた方のお話を聞けることはなかなかないので、貴重な機会をいただけて嬉しいです。

イ. 講演を受けて感じたこと、実践していこうと思われたこと、講師へ伝えたいことなどをお書きください。

- ・自分にとって身近に起こりうる事例も多々あり、大変勉強になりました。リスクマネジメントは学校に勤務する教職員全体に共通する問題と感じました。「知らなかった」と後で後悔することのないようにしたいです。
- ・どれだけ対策をしても怪我などのリスクはゼロにはできないけれど、大きな事故を防ぐためには、チーム学校で危機管理体制を確立していくことが重要なのだと改めて考えることができました。一歩二歩先のことまで、「もし〇〇だったら?」と考える大切さを学びました。学校事務職員の職務規定が「従事する」から「つかさどる」に変わったことで、一つ一つの仕事に対し責任を持つことはもちろんですが、専門性や知識・情報など学校経営を行う上で大切にすべきことや、新しい学びを増やしていこうと思いました。
- ・学校の危機管理マニュアルをしっかりと読み直して、何か起こってしまった時にすぐに対応できるようにしておこうと思いました。例題があったおかげで、自分が当事者であったらどのような対応をするか予想し、またどのように対応すべきかしっかりと考えることができました。
- ・リスクマネジメントまたクライシスマネジメントは学校全体で意識していかなければならない重要なことだと思いました。事務職員も学校行政をつかさどる者として何ができるのか、これからの在り方を考えていく必要があると感じました。実務をこなし、できることを増やしていきたいと思いました。
- ・私は新採用のため、最初から「つかさどる」事務職員です。「従事」という言葉では「決められたことをやる」というイメージがありますが、「つかさどる」だと幅が広がり、その分求められていることも増えているのだろうと改めて感じました。おそらく学校や地域によっても、求められる仕事は違いがあると思いますが、どのような状況でも臨機応変に対応できる事務職員になりたいです。

QⅢ 県公事研主催の研修会として今後取り上げて欲しいテーマはありますか? 特に知りたいことなどがありましたら、お書きください。

- ・財務研修/財務の基礎基本、財務マネジメント
- ・コミュニケーション研修
- ・実務研修/手当関係の複雑な事例、新人事給与システム報告の事例
- ・組織マネジメント/企画立案
- ・税務研修
- ・共同事務室
- ・各地域の研究報告
- ・各地域の研究会活用法
- ・先輩事務職員の体験談/新採用時代の悩みや解決法など